

平成22年12月2日

周南市長 島津 幸男 様

徳山地区地域審議会
会長 國 富



徳山地区地域審議会からの提言について

周南市におかれましては、周南市まちづくり総合計画に基づき、市民と一体となって地域の振興に取り組まれていることに対し、心から敬意と感謝申し上げます。

さて、徳山地区地域審議会では、本市の最重要課題である中心市街地の活性化を議題の一つとして掲げ、特に平成23年5月に国に申請予定の「中心市街地活性化基本計画」の基本方針や具体的事業に対する提言をまとめるため、集中的に審議を進めてまいりました。

つきましては、徳山市、新南陽市、熊毛郡熊毛町及び都濃郡鹿野町の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議書第3条第2項の規定に基づき、次のとおり提言をいたします。

事情をご賢察のうえ、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

提言事項

中心市街地活性化基本計画についての提言
(別紙)

中心市街地活性化基本計画についての提言

中心市街地の活性化は、市の最重点課題として、様々な施策に取り組んでおられます。今後その取り組みの基本となる中心市街地活性化基本計画は、平成23年5月の国への申請に向け、日々検討を重ねられることと思いますが、同計画の基本方針及び具体的事業等について、次の点を踏まえ、策定される必要があると考えます。

1. 基本方針

交通結節点や商業集積地域としての「にぎわい拠点」の特性を踏まえると共に、全国の中心市街地活性化基本計画策定地域とは異なる本市ならではの独自性をもって、市内外から広く人を呼び込むポイントを明確にすることが必要であると考えます。

駅周辺地区だけでなく近接地域の活性化も視野に、次の3視点をご提案します。

視点1 シニアと子どもと観光客でにぎわうまちづくり

平成21年9月にご提言した内容ですが、中心市街地には、シニア層にとって魅力的な観光スポットが多くあり、歩いて回る事ができる範囲に点在しています。

また、元気のよいシニアは、今後増加するものと予想されます。

このため、シニアを対象とした観光地を整備するとともに、商業的にはシニア向けの品揃えを豊富にすることで、シニアと子ども、観光客でにぎわうまちづくりの実現を目指すべきだと考えます。

視点2 街なか居住による便利で安心なまちづくり

街の中心に利便性を重視した老人ホーム、老人向けマンション、医療施設を建設することにより、高齢者が安心して過ごすことが出来る街を目指すべきだと考えます。

さらに、シニアの力をボランティア等で有効活用することが、街に活力を与えるものと考えます。

視点3 商業等の活性化に向けたまちづくり

交通の要衝であること及び周辺地域との関連を考慮した活性化施策の必要性に関する観点から、戦略的・重点的に商業地等の活性化を展開することも有効だと考えます。

2. 具体的事業

中心市街地を活性化するための具体的事業として、次の8つの事業を提案します。

(1) 車のアクセス面改善

○シニアを対象にした試験的な駐車場の無料化

- ・今後増加が予測される団塊の世代は、多くが自家用車を保有しているため、車のアクセスについての利便性は無視できない。
- ・駐車料金が無料である郊外と比べ、1時間200円の料金では競争力に大きな差がある。特に女性客には、中心市街地商店街を避ける主な心理的要因となっている。

(2) 中山間地域との交流

○農村部と都市部で都市農村交流事業を展開

- ・中心部と中山間地域、お互いが補完しあう関係性を構築すべき。
- ・中心部へ人を呼び込むことと同時に、中心部から中山間地域への協力体制も構築することにより、相互関係を深めることが出来る。
- ・学生が農家をサポートする仕組みづくりを考えるべき。

(3) 周南市独自の「食」を発掘・創作

○安い・うまい・珍しい「食」の発掘を実施、入賞を目指し全国大会に出場

○地域グルメ大会を開催

- ・中心地付近は、飲食店が既にある程度充実している。
- ・「B級グルメ」への注目が高まっていることから、コンテストで上位に入ることにより、メディアへの露出や集客の増加が期待される。

(4) 各種イベントの計画的・定期的な開催

○「飯島さま祭り」を毎月1回開催

○「動物園まつり」、「源太郎さくら祭り」など特徴のあるイベントを新たに企画し、定期的な開催

- ・飯島町にあるお寺「飯島靈尊」は、腰から下の病気に靈験あらたかとして知られている。
- ・銀杏並木の副産物である銀杏を生かした料理を創作し、イベントを実施する。

(5) 情報提供の充実

○「市内観光マップ」「市内お役立ちマップ」の作成

- ・「徳山動物園」や「美術博物館」に加えて、「児玉神社・児玉公園」、「飯島さま」、「孝女お米」や周辺のお寺、旧毛利公関係の史跡などを盛り込んだ「市内観光マップ」があれば、観光客にとって便利。
- ・高齢者にとって、どこにどのような病院があるという情報は役に立つ。

(6) 徳山大学、徳山高専、専門学校等学生パワーを活用

○各種行事の企画・運営などに学生パワーを活用

- ・サテライトカレッジを商店街の中の施設を使って開催するなど、商店街と若者の関わり合いの機会を増やす。
- ・実学を学ぶ場としても役に立つ。

(7) ひとの交流促進

○徳山に縁のある人が活躍できる場作り

- ・徳山出身かつ首都圏や関西圏等でご活躍中の方の中には、定期的に徳山へ帰ってこられる人、又はふるさとで活躍したいと思っている人もいる。
- ・地元のイベント等でご協力を依頼できる部分を整理し、情報提供を行う。

(8) 産業観光施策の充実

○産業観光の一つとなるナイトクルーズの実施

- ・最近、全国的に産業観光がブームになっており、夜のコンビナートの明かりの中に浮かぶ工場群が人気スポットになっている。
- ・昼間の市内観光と夜のナイトクルーズとをセットにしたツアーなども考えられる。

3. その他

中心市街地活性化基本計画に関連する事項として、子育てがしやすいまちをめざす視点から、次の提案も申し添えます。

○子育て交流センター機能の駅ビルへの導入

徳山駅周辺整備計画において想定される新たな駅ビル計画において、子育て交流センター機能の導入を図る。

以上、現在策定中である「中心市街地活性化基本計画」への反映、並びに今後の各種事業の実施において、当提案をご検討されますよう、お願いいたします。